

恋人の聖地ツアー

「潮騒」舞台 鳥羽・神島で企画

来月14日

三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台になった鳥羽市の離島・神島で、「恋人の聖地」として本格的な観光ツアーを定着させる取り組みが進んでいる。島の現役海女たちのガイドで映画「潮騒」のロケ

地を巡りながら、主人公の新治と初江の淡い恋に思いをはせてもらう趣向だ。3月14日のホワイトデーにモデルツアーを企画、参加者を募集している。

計画しているのは離島の旅をプロデュース

する「島の旅社推進協議会」（中村正道会長）。神島は伊勢湾口に浮かぶ周囲3・9キロで、06年にNPO法人・地域活性化支援センター（静岡市）が選定する「恋人の聖地100選」に選ばれた。

島を巡るツアーは単発で行われてきたが、活性化のためには本格的なツアーの実施が必要として、島の旅社が定期的な開催に向けプランを策定中だ。

試験的に行うモデルツアーは、海女の小久保園江さん（63）ら5人がガイドを務め、新治と初江が互いの愛を確認した監的硝かんてきしょうや、新治が美しい花嫁を授かるよう祈った八代神社、神島灯台などを巡る。当日限りのハート型「ラブラブとばーがー」やオリジナルのシェルキャンドル作り、アワビの殻への愛の言葉書き込みなどがある。

3月14日午前10時40分、佐田浜発の市営定期船に乗船し、約4時

間のミニツアー。10組20人を募集する。参加費1人3000円。申し込みは島の旅社（0599・37・3339）へ。【林一茂】